

紅葉の季節になりました。通勤途中でもハッとするくらい綺麗な紅葉を見かけることがあり、気持ちも明るくなります。

ところで、私は寒くなると「さつまいも」が食べたくなり、スーパーに行くたびに買っていました。さつまいもを手に取りながら、こんなに買うのなら自分で育てて収穫した方がいいのではないかと思います。今年の春、さつまいもの苗を購入して植えました。収穫のタイミングが分からず、少しでもたくさんの芋が出来るようにと、いつまでも放っておいたら、母から、早く収穫しないとぐらに食べられてしまうと言われたので、慌てて収穫してみたら、確かに一番大きなさつまいもは、何かに食べられたような跡がありました。でも、味は満足！スーパーに売ってるのと同じくらい、美味しかったです。今回は、少ししか収穫できませんでしたが、来年は、もっとたくさん収穫できるように畑を耕しておこうと思います。初めて芋掘りが体験でき、楽しいひと時でした。



売買部：満山ひろみ



ひとくちメモ

「紅葉狩り」



11月は日本各地で秋の行楽シーズンが最盛期を迎えます。紅葉の名所は美しく色づいた秋の木々を愛でる人々で賑わい、イベントなども開催されます。

「紅葉狩り」は紅葉した落葉樹を眺めて楽しむことで、何かを狩るというわけではないのに、なぜ「紅葉狩り」というのでしょうか…。諸説ありますが、平安時代の貴族にとって「歩くこと」は品が無いという考え方があり、野山に出かけて紅葉を鑑賞することを「狩り」に見立てて、「紅葉を狩りに行く」と言い換えたという説があります。また紅葉狩りは、平安時代に貴族の間で始まったと言われ、紅葉を見ながら宴を催し、和歌を詠んだりしながら楽しんだようです。その後江戸時代になってから、庶民の間で広がったと言われています。

秋の代表的なレジャーである紅葉狩りは、全国に名所や穴場がたくさんあります。癒しにもなり、美しい大自然にふれたいものですね。

3年連続 県内売上高 No.1 株式会社 いわき土地建物
 ご相談下さい フリーコールで No.1の不動産屋へ みんな行く
 0800-123-3719

ひとくちメモ

◇いわき市津波ハザードマップの改訂◇

福島県は、2022年8月1日『津波浸水想定』を公表しました。

福島県の多重防御による復興まちづくりの基本的考え方は、防災緑地等を整備し、道路や市街地整備等とともに津波を減衰し、浸水範囲を軽減する多重防御により、防災力の向上を目指した復興まちづくりに取り組むというものです。

いわき市ではこれまで市独自の津波シミュレーション結果を用いた「いわき市津波ハザードマップ暫定版(第2版)」を公表していましたが、福島県が『津波浸水想定』の公表をしたことから、いわき市は津波ハザードマップの改訂を行いました。改訂されたハザードマップは新聞等で掲載されましたが、いわき市のホームページで確認できますので、自宅や職場などにおける津波浸水リスクを確認するとともに、津波避難場所・避難経路等を日頃から確認し、「いざ」という時のために備えるようにして下さい。なお、今回の見直しにより浸水区域の拡大はなかったということです。

空家、空地のお悩み、ございませんか？

(株)いわき土地建物では、いわき市内で空家や空室、空地の管理を承っております。

固定資産税+αで古家の借り上げも可能です。

是非、弊社にご相談ください。

(株)いわき土地建物 売買

全国空き家相談士協会認定 空き家相談士(1)第001382号 鈴木慎一

ご相談下さい フリーコールで No.1の不動産屋へ みんな行く
 0800-123-3719

資金計画 | 自己資金 | 住宅ローン | 税金 | 建物状況調査 | 引越

これを読めば、不動産取引の基本的な流れが良くわかる！



『住まい探しのお悩み解決BOOK』

この度、土地・中古住宅の購入における基本的な流れや、不動産取引の様々な事について一冊の本にまとめてみました。これを読めば不動産取引の基本的な流れが良くお分かり頂けると思います。この冊子をご希望の方は小島東店までご連絡ください。

無料進呈中

フリーコールで No.1の不動産屋へ みんな行く
 0800-123-3719